



第13回 年次総会 開催

協会事務局

平成28年度理事会・総会が6月27日に霞山会館にて執り行われました。総会開催に先立ち、10時からの理事会に於いて平成27年度の会計報告、28年度の予算、新人事案が承認され、総会に提出されました。総会は11時から委任状を含め124名の出席により開催されました。

平成27年度の活動報告として、ごらくちようの発行(4回)、メールマガジンの発行(26回)、Toktok会の開催(3回)、ホームページのリニューアル、関係各機関との活動などの詳細が報告されました。

平成28年度の活動計画として、ごらくちようの発行(4回)、メールマガジンの発行(10日毎程度)、Toktok会の開催3回、支部活動の活性化、軍楽隊への寄贈事業などのサポートが承認されました。

最後に、新理事として橋 廣治氏(前駐 PNG 日本大使)及び辻 尚志氏(元 JICA PNG 所長)が理事会推薦、総会で承認されました。

総会開催後には懇親会が模様され、40名様がお出席され、今後の活動に向けて活発な意見交換が行われました。

平成28年度 役員理事リスト

名誉顧問	大河原 良雄	財団法人世界平和研究所理事長、元駐米日本国大使	理事	阿部 英寿	株式会社かもめ 代表取締役 社長
名誉顧問	マイケル・マウエ	前駐日パプアニューギニア特命全権大使	理事	及川 正博	立命館大学 特任教授
名誉顧問	ガブリエル・ドゥサバ	駐日パプアニューギニア特命全権大使	理事	賀集 イレーネ	アルゼンチン共和国弁護士
顧問	堀江 正夫	東部ニューギニア戦友遺族会会長、元参議院議員 元日本・パプアニューギニア友好協会会長	理事	川口 正義	日本旅行作家協会会員
顧問	安田 藤一郎	全国ソロモン会 会長	理事	喜多村 裕介	元 JICA パプアニューギニア所長
顧問	日本パプアニューギニア 友好議員連盟の諸先生	代表 田中 和徳 (衆議院議員、日本パプアニューギニア友好議員連盟会長)	理事	郡 修三	株式会社 郡産業 代表取締役
名誉会長(理事)	村田 吉隆	前日本パプアニューギニア友好議員連盟会長	理事	鈴木 紀久代	新潟パプアニューギニア協会 事務局長
名誉顧問(理事)	谷口 誠	桜美林大学北東アジア総合研究所特別顧問、 前日本パプアニューギニア協会会長、 元駐パプアニューギニア日本国大使、元日本国連大使	理事	関本 暁	住友林業株式会社 資源環境副本部長
会長(理事)	山下 勝男	元駐パプアニューギニア日本国大使	理事	長 宏行	財団法人 オイスカ 国際協力部 部長
副会長(理事)	唐沢 敬	立命館大学 名誉教授	理事(新任)	辻 尚志	元 JICA パプアニューギニア所長
副会長(理事)	中村 弘	晃和木材株式会社 元代表取締役 社長	理事	成岡 圭子	株式会社 晟主社 代表取締役
副会長(理事)	志村 容一	シムラロッヂ オーナー	理事	西山 肇	元駐パプアニューギニア日本国大使
事務局長(理事)	島田 謙三	元ニューギニア航空日本支社長、日本ビジネスライン株式会社 代表取締役	理事(新任)	橋 廣治	前駐パプアニューギニア日本国大使、作家
			理事	花井 練太郎	鈴鹿ロータリークラブ会長、鈴鹿国際大学 客員研究員
			理事	原 晃	コーエイ総合研究所顧問、元 PNG 政府外国人契約公務員
			理事	武藤 優	株式会社 パプアニューギニア海産 代表取締役
			理事	村越 裕之	コスモメディア株式会社 代表取締役
			監事	土屋 耕太郎	土屋法律事務所 弁護士

第10回 Toktok会（講師 写真家 辻丸 純一氏） ～パプアニューギニア踊り紀行～

植田 早苗（当協会会員）

7月16日、PORTA 神楽坂で開催されました写真家、辻丸純一氏による特別講演会に参加し、パプアニューギニアの人々の多彩な踊りを映像で拝見しました。

雄大な自然に囲まれた舞台上で踊り続けるゴロカショーを始め、いにしへの風習を再現した踊りなどパプアニューギニア全土を10年間に亘って取材されています。その踊りは密林の中で生活する多くの部族の人々の生きるエネルギーの源であり、個性を主張するために部族独特の衣装やペインティングで競い合います。そして全身に鮮やかな衣装を身にまとい仮面をつけ変身していく儀式は、ある種の原始宗教的な意味合いを持つように思われます。そのアニミズム的な表現はそのまま自然界の一部となって溶け込んで、新たな生命エネルギーとなって人々の「生きる力」を感じさせてくれます。

拝見しているうちに過去に鶴ヶ島市で所蔵していました「パプアニューギニアを中心とするオセアニア民族造形美

術品」をサポートするボランティア活動を思い出しました。特にセピック川周辺の精霊堂（ハウスタンバラ）の映像は懐かしく、その内部に展示されている造形品や人生儀礼で使われる彫像や祭りのための楽器、踊りで使われる仮面や衣装など合わせて1725点を所蔵していました。

その間サポート活動の一つとして度々の展示会を開催し、多くの方にパプアニューギニアの文化を知って頂くことができました。特に国重要文化財の高麗家住宅で開催しました時には多数のご入場者をお迎えし、大使館からは前駐日大使マイケル・マウエ氏も会場にお見えになり、地域の子供たちとも交流頂きました。その後諸般の事情により造形品は早稲田大学、南山大学、天理大学に移譲されましたが、現在でも各3大学では研究活動を継続されています。

今回の辻丸氏の特別講演はパプアニューギニアの踊りを通して、世界的にも貴重なプリミティブアートの世界も体感させて頂くよい機会でした。



奨学生のご紹介

日本とパプアニューギニアとの末永い友好を続けるための一助として、日バ協会では2010年よりパプアニューギニアの大学生に奨学金を提供する活動を行っています。

今年度は三人の大学生にお渡しすることになりましたが、その内のお二人のご紹介をさせていただきます。

いずれも当協会の経済的支援に大変感謝しているとのコメントをいただきました。



イメルダ・カラルス
(Imelda Karalus) さん

ブーゲンビル出身の22歳。ポートモレスビーにある「ドンボスコ・テクノロジカル・インスティテュート (Don Bosco Technological Institute)」の3年生。専門は、技術教育、コンピューター、数学。高校三年生の時、経済の授業で日本のことを知り、最も先進的な国で質の良いものをつくることに強い印象を持たれたことが今の学業選択の動機だとか。将来は工業関係の会社に入るかトレーダーになることが夢だそうです。



アンナ・クヤナコ
(Anna Kuyanako) さん

ミルンベイ出身の23歳。ポートモレスビーにある「ドンボスコ・テクノロジカル・インスティテュート (Don Bosco Technological Institute)」の3年生。専門は、電子工学と英語。日本は産業の発達した国で異なる文化、伝統、言語を持っており、それらをより多く知りたいと切に思っているとのこと。将来は技術系の教師になりたいとのこと。

松本 盛雄（在パプアニューギニア特命全権大使）

4月下旬及び6月上旬に、私はジワカ州と西ニューブリテン州それぞれに出張して、草の根無償資金協力による診療所整備及び小学校教室建設プロジェクトの完成式に出席しました。いずれも現地住民の生活に直結する協力として大歓迎を受けました。このうち、ジワカ州では日本企業による小型ソーラーパネル充電LEDライトの贈呈式にも出席しました。この贈呈は、大洋州の遠隔地で暮らしている子供たちが、電気がなくても勉強できるよう、日本製品を役立てて欲しいという趣旨で行われたものです。



ジワカ州のトンガム知事は、日本で博士号を取得するなど、日本との縁が深く、当館としても同州を日本との関係強化の拠点のひとつに位置づけています。PNGの遠隔地では未電化地域が多く、太陽光を利用した製品の利用価値は非常に高く、需要も大きいと考えられます。今回の寄贈を契機に、こういった日本企業の優れた製品が、首都ポートモレスビーだけでなく、地方の住民にもより広く購入・利用されることを期待しています。当館は今後も日本企業の対PNGビジネスの拡大のために具体的案件に積極的に協力していきます。



萩原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

オニール首相のパプアニューギニアの首相としての5回目の来日が、この5月26—28日の伊勢志摩サミットのアウトリーチ会合にて実現されました。

この会合は、G7の国々（米国、英国、フランス、イタリア、カナダ、ドイツ、日本）とは別に8年ぶりにアジアで開催されるサミットであることを踏まえ、アジアから、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、ラオス、スリランカ、パプアニューギニアの首脳が日本政府に招待され、その他、国連、経済協力開発機構（OECD）、アジア開発銀行（ADB）、国際通貨基金（IMF）、世界銀行の総裁も同じく招待されました。

アウトリーチ会合及び、日本パプアニューギニアの首脳会談の様子は、各メディアですでに報道されたので、こちらではオニール首相に関するその他のプログラムの部分をお知らせいたします。

まず到着初日5月26日の夕方は、愛知県、名古屋市共同主催でアウトリーチ会合のレセプションが名古屋観光ホテルで開催されました。愛知を代表する企業トヨタの、最新プリウスの展示を始めとする愛知県の産業、食品などさまざまなプロモーションが展示され、歌舞伎パフォーマンス等とても華やかなレセプションでした。

翌日アウトリーチ会合が賢島で開催され、フォトセッション、安倍首相を囲んでのワーキングランチを終えた後、ディナーまでの時間に若干余裕があった為、名古屋にて急遽、名古屋城視察が組み込まれました。急なリクエストにもかかわらず、名古屋市役所は快く受け入れてくださいました。その他、事前のプロモーションでの来京など、愛知県、名古屋市の歓迎ぶりには頭が下がる思いでした。名古屋城視察の記事は以下の通りです。

<http://www.chunichi.co.jp/article/feature/iseshimasummit/list/CK2016052802000213.html>

2泊3日の首相来日でしたが、経済成長への協力、両国の友好関係の強化を柱とする安倍首相との二国間首脳会談も成功裏に終わり、パプアニューギニアにおいては、日本との貿易、投資関係のさらなる発展への期待が強調された会合でした。

今後のパプアニューギニア、日本との強固な関係に大使館一同、一層の期待を致します。



弊社は代表の祖父がニューギニアで戦死しているという経緯から、微力ながら協会のお手伝いを通じて、パプアニューギニアと携わる皆様のご繁栄、そして大戦で亡くなった方々の供養の一助になればと思い、日本パプアニューギニア協会に設立当初より加盟させていただいております。

インターネット黎明期であった1995年に、弊社はインターネットプロバイダとして発足し、21年間IT事業に携わって参りました。今やPC・サーバ・ネットワーク・インターネットを中心とした、IT環境に囲まれて仕事をするのは当たり前となりました。しかしあまりにも急激に変化し続けるため、その一つ一つを管理しきれなくなり、お困りの方も非常に多いのも現実ではないでしょうか？

弊社ではパソコンに関する煩雑な契約を一本化し、金額面や手間などあらゆるコストを削減するべく、インターネット接続、サーバレンタル、ホームページ管理（更新等）、ITサポート（パソコンの不具合等）をひとまとめにした「フルサポートパック」をご提供しております。具体的には個々の会社様に合わせてご提案させていただきます。

更に協力会社との提携により、パソコン関係のみならず、社内ネットワーク等の小さなシステムから、販売管理システムや会計管理システム等の大掛かりなシステム構築も承っております。

また、ここ数年はハード面のみではなくソフト面にも力を入れ、デザイン部門を立ち上げました。

パソコンでちょっとした販促チラシをワードやエクセルで作ってみたけど、なんかイマイチ。ホームページの一部分を変えたいけど、うまくできない。そんなお悩みの声をしばしば耳にしておりました。印刷物は印刷会社

にお願いして、ホームページはWEB制作会社にお願いして、でもイメージは統一したい。WEBとグラフィックの両方でできれば、会社のホームページ制作依頼の一回で、サーバの依頼をしなくて済み、会社案内のパンフレット、各サービスの案内チラシも素材を渡さずとも事足りる、そんなサービスができるじゃないか！を実現いたしました。

弊社が考えるデザインとは、いかにお客様の想いを形にし、いかに見る側にとって伝わりやすいものにするかを重視し、テーマに対して「そのものらしさ」を大切に制作いたします。そのために丁寧なヒヤリングと試作を繰り返して形にしていく行程は、システム構築にも通じるものがあるのです。

お客様のお悩みを解決し、煩わしい手間を極力簡略化しつつ、ご要望にはしっかり応えていく、その思いを具体的なサービスとしてご提供して参ります。

日本・パプアニューギニア協会におかれましては、ホームページのリニューアル、このごらくちょうの制作など各所でお世話になっております。協会員の皆様のご意見をいただきながら、今後もよりよいものにして参ります。

パソコン関係や販促物など、何かお困りの事などありました際には、弊社に是非ご一報ください。ご満足いただけるソリューションをご提供させていただきます。



お気軽にお問い合わせください

TEL:03-5604-8611

E-mail:lab@jah.jp

事務局からのお知らせ

6月27日に年次理事会、総会がご報告の通り開催され、平成16年2月24日創設の当協会も14期に入りました。

これもひとえに会員各位のご理解ご協力の賜物と御礼を申し上げます。

本年度は、PNG 軍楽隊への楽器供与サポートをはじめ、奨学生基金の充実など、協会としても新たな一歩を歩む予定です。

支部活動も国内、PNG 共に活発化しております。

日本とPNGの懸け橋として充実をさせていく所存でございますので、引き続き会員の皆様のご支援をお願いいたします。

日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員:33社 ◆ 個人会員:170名 (2016年7月31日現在)

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-2-1 エース九段ビル8階 日本ビジネスライン(株内)
Tel:03-5216-3555 Fax:03-5216-3556 E-mail:info@jpgng.or.jp URL:http://www.jpgng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員5,000円 法人会員50,000円 学生1,000円 PNG人1,000円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ